

## 会議の経過

露木課長	<p>1 開会</p> <p>皆様、こんにちは。定刻となりましたので、ただ今から令和元年度第1回大井町総合教育会議を開催いたします。本日、司会を務めさせていただきます総務安全課長の露木と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>「次第2 町長あいさつ」小田町長よろしくお願いいたします。</p>
小田町長	<p>2 町長あいさつ</p> <p>改めまして、皆様、こんにちは。日頃は、町の教育行政に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本日は今年度第1回総合教育会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、この総合教育会議は、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的として、首長と教育委員会という、執行機関同士が協議・調整する場であると理解しております。人づくりにおいて、大変重要な要素でありますし、教育というカテゴリーに含まれる分野が実に幅広いものであるということを考慮いたしますと、ここにお集まりの教育委員の皆様方と、町の教育について協議を尽くすことは大変有意義であり、町の教育のあるべき姿を共有するためには、必要不可欠なものであらうと思っております。私も精一杯、皆様の御意見に耳を傾けてまいりたいと思っておりますので、何卒、これまで同様お力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、来年度に改訂される学習指導要領についてと、青少年育成事業について協議したいと考えております。</p> <p>限られた時間ではございますが、忌憚のない御意見をお聞かせくださるようお願いいたしまして、私からのあいさつに代えさせていただきます。</p>
露木課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本日の出席者につきましては、御手元に配付させていただいております次第の裏面でございます「出席者名簿」のとおりとなっております。本日は、全員の出席をいただいておりますので、この場を借りて御報告させていただきます。</p> <p>それでは、「次第3 協議・調整事項」に移ります。大井町総合教育会議運営要綱第2条第1項の規定により、議長は町長が務めることと</p>

小田町長	<p>なっておりますので、これからの進行は小田町長にお願いいたします。</p> <p>はい。それでは、私が議長を務めさせていただきますが、会議の性格上、私からも意見を述べさせていただくことがあろうかと思っておりますので、予め御了承願います。</p> <p>それでは（１）「新学習指導要領について」を協議したいと思いますので、説明者から要点に触れて説明をお願いいたします。</p>
大川指導主事	<p>3 協議・調整事項</p> <p>(1) 新学習指導要領について</p> <p>(※パワーポイントで、新学習指導要領とそれに伴う学校運営の見直しについて説明をした。)</p>
小田町長	<p>それでは、ただ今の説明を受けまして、さらに詳しく聞きたいことや質問などがありましたら御発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
石井教育長職務代理者	<p>新学習指導要領では、学校と社会の繋がりが重視されていると思いますが、地域社会との関わりという点で、今後、私たちが学校に対してどのようなことができるのか、お伺いします。</p>
大川指導主事	<p>これまでの中学校では、地域ふれあい活動や職場体験等で、地域の方々との繋がりを御指導等を受けてきました。学校からどのような子どもを育てていきたいというビジョンの基、地域との連携を図りながら子どもたちの指導、または支援に繋げていただければと考えております。</p>
夏苺教育長	<p>今、指導主事から学習指導要領が改訂されて、外国語活動や外国語が入ってくるとの話でしたが、授業時数の増加は、5、6年生で1時間です。2時間と説明がありましたが、外国語活動で今まで1時間だったものが、教科外国語になって1時間増えることとなります。実質4年生から6年生までが1時間ずつ増える対応となります。それに伴って、どう授業時数を確保するか、今までも教育委員会で取り組んできました。併せて今年は、教員の配置について英語専科教員が配置できているところでございます。あとALTにも対応していただいております。ALTは、ネイティブであり、いろいろな人と関わるということで、とても有効な人員の配置をしていただいております。是非、町長にも御理解をいただいて、引き続きALTはお金もかかりますが対応をよろしくお願ひしたいと思います。それから、正規の教員以外にも町での雇用をしていただいております。結果的には、要</p>

小田町長	<p>望ということになってしまいますが、引き続き御理解をいただきたいと思えます。</p> <p>外国語教育についてですが、教員の研修等については、どのように考えていますか。</p>
大川指導主事	<p>大井町では、夏休みの8月に外国語活動指導者担当研修会を実施しています。外部から指導者をお招きして、小学校の教員と中学校の外国語担当の教員を対象に研修を行っております。また、それとは別に年間2回、外国語活動担当者会議ということで、今年度は、教育長からお話がありました英語専科担当教員の小学校での授業を参観することで、次年度の外国語活動の授業をどのようにしていくのか研究授業をとおした研修を行います。12月にも1回行います。</p>
夏苜教育長	<p>今の教員の研修ですが、教員が指導するとなると教員免許状が必要になります。以前の教育課程では、外国語を想定した教員免許状ではありません。これをどうするか10年以上前から話題になってきました。特に先生方については、様々な面で研修をしていただいております。しかしながら、一堂に全員という訳にはいきませんので、町は町として、また県は県として取り組んでいます。去年は、県が神奈川大学との連携で1年間かけて、週1回でしたが教員研修に1人行かせていただきました。いずれにしても、英語力をそれぞれ高めていただくことにおいては、町としては町のできる範囲で取り組んでいるところであります。それから、英語の専科教員を今年は配置していただきました。その教員は英語の教員免許状を持っておりまして、かなり熱心にやっております。本来であれば、その先生が授業をしているときに、担任の先生も一緒に入っていただいて、ティームティーチングとか授業に参加し、自己研修等をしていただくことが一番良いのですが、担任の先生については、この時間を空き時間にし、働き方改革の中で持ち時間を減らすという配慮もなされています。これについては、先月も文科省の方と話をしたときに、他県でも同様の配慮をしてほしいとの話も出ていました。働き方改革との両輪の中では、難しいところもあります。町としましては、地道ではありますが、夏休みの研修を継続していきたいと考えております。</p>
小田町長	<p>その他に何かございますでしょうか。</p>
中條委員	<p>個人的な意見になってしまいますけれども、今、教育長が言われた働き方改革と新しい外国語教育とプログラミング教育が入ってきま</p>

	<p>す。先生方も大変だろうなと考えたときに、加配であるとか、それなりの人員を配置していくことが必要なのかということと、その一方で今年、湘光中学校に学校訪問したときに、校長先生が外国語教育が小学校から入ってくることによって、中学校に入ってくる段階で英語嫌いな子どもたちが増えてくるという現実があると、校長先生の話にありました。これから教科化される新しい教科書を私も見ましたが、かなり内容が難しい教科書もありました。そうすると、授業に付いていけない子ども、つまづいてしまう子どもが増えてくることが予想されます。プログラミング教育もそうですけれども、私も個人的にあまりパソコンが得意ではないですから、なかなかついていけない子どもたちが増えてくることを考えたときに、どう子どもたちへのサポートをしていくのか、体制を整えるのか、これは人員配置も絡んでくることですが、それを手厚くやらないと子どもたちも大変だなと、そんな感想を持っています。</p>
<p>小田町長</p>	<p>確かに、最初から毛嫌いしてしまうとマイナスになってしまいますね。英語は難しいものだと思われてもいけないと思います。それについて考えはあるのでしょうか。</p>
<p>夏苺教育長</p>	<p>確かに外国語活動で以前は、ゲームをしたり、歌を歌い英語に慣れ親しむことを目的にしていました。英語を書いたり、読んだりということは、あまり熱心にやっていませんでした。ある時期になるとゲームや歌では満足しなくなると、ある校長先生がおっしゃられていました。当然そこには、英語にももう少し深く関わっていく。それが中條委員がおっしゃられるように、子どもによって違いがあるので、どこに照準を合わせるかということも難しさがあると思います。少なくとも中條委員がおっしゃられたように、まずは嫌いにさせないよう丁寧に取り組んでいく方法しかないのかなと思っています。また、町から学習支援員を各学校に何名かずつ配置させていただいているところですが、その方にフォローさせていただいて対応しておりまして、引き続き考えていきたいと思っています。</p>
<p>小島委員</p>	<p>話は変わってしまいますが、小学校では新学習指導要領の本格実施が来年度から始まりますが、使用する教科書の採択はされましたし、新学習指導要領、新しい教科書に合わせて、学校では年間指導計画が作成され、準備もされ大変だと思います。また学習環境面での対応もあろうかと思いますが、そのような動きはどのようになっているのでしょうか。</p>

大川指導主事	<p>年間指導計画については、3小学校で教科ごとに分担をして準備を進めている段階であります。学習環境面については、先程プログラミング教育の話にもありましたように、パソコン教室の環境を一斉に全ての学校とは難しいところですが、順次それぞれのパソコン教室のパソコンの入替えに取り組んでいる段階です。</p>
小田町長	<p>私から聞きたいのですが、今、町では第6次総合計画の策定の調査に入っていますが、その計画の中に新学習指導要領の趣旨は、どのように反映されるのでしょうか。</p>
石井教育総務課長	<p>第6次総合計画は、これから骨子を含めて策定することになります。第5次総合計画をどこまで反映させるかということもあるので、全体を見直すことになります。第6次総合計画は全体で10年、新学習指導要領も10年となります。第6次総合計画で策定するのは、学習環境も含めてベースになる部分になるかと思えます。学習指導要領の改訂は細かな部分でもありますので、それをどこまで反映させていくか、これからの話になりますが、まず土台を作ったうえで、どこまで反映するかということになると思えます。</p>
夏苺教育長	<p>趣旨は踏まえるということになります。</p>
小田町長	<p>新学習指導要領が改訂されますが、その内容について保護者への説明はどのようにするのでしょうか。</p>
石井教育総務課長	<p>保護者への説明ですが、例えば夏休みが短くなることなど直接生活に関係しますので、教育長から小中学校長宛てに文書による通知をしました。それぞれの学校で違った説明をしてしまうといけませんので、基本的な部分を押さえて出しています。また、明日の予定になりますが、教育長と各学校長の連名で新教育課程の実施に向けてという表題で保護者に通知を出させていただきます。指導主事が説明したことを踏まえて大きな変更事項、夏季休業が変更になること、学校閉庁日はすでに実施しておりますが8月16日、12月28日と1月4日を含める変更になること、それから土曜スクールを廃止するという内容を保護者宛てに通知する予定でございます。当然、内容がよくわからないという方も出てくると思えますので、学校、教育総務課を含めて対応していきたいと思えます。また、令和2年度から学校が変わりますということで、11月1日号の町広報で2頁を使いまして内容を周知いたします。</p>

小田町長	近隣の町の状況はどうか。
夏苺教育長	<p>夏休みは、どこも減らしていく流れになっております。今年、山北町が5日間減らしました。大井町は先行して2日間減らしているのですが、ここで3日間減らして合わせて5日間で、山北町と同様になっております。山北町が一番短いですが、他の市町もそれぞれ日数に違いはありますが、今までより2～3日程度夏休みが短くなっております。夏休みは先生方の研修があります。これが県西の教育事務所管内でやりますと他の市町とのバランスもありますので、一方的に減らす訳にもいかない状況です。先生方の勤務の状況もありますので、5日間で学校と調整してきました。また教育委員会としても、委員の皆様から御意見をいただいたところでございます。</p> <p>働き方改革でも学校閉庁日の実施が出ております。大井町は、それ以前から実施しておりますが、特段その期間に教育委員会の問い合わせもないことから、来年度もしくはこの冬休みから増やしてはどうかと話題にさせていただいております。ここで県の働き方改革のガイドラインが出ました。それによると5日間の学校閉庁日を実施するとなっております。来年度から夏休み4日間と冬休み2日間の6日間、大井町では実施していきます。冬休みについては、中学校では進路の関係で仕事をしたい先生方がいると話も出ていますので、年末は1日ぐらいが妥当かなという状況であります。これについて、山北町は2日間と先行的に行っております。学校閉庁日はあくまでも、対外的な対応については行わないということで、先生方も年休等を取らなければなりませんので、必要によっては学校に仕事に来る方もいる状況であります。そういったことも含めて考えていきたいと思っております。</p>
牧野委員	<p>新学習指導要領で育む資質・能力ということで、評価点の見方が違ってくるかと思いますがどうでしょうか。今までの点数制というのは、少し違ってくると思います。</p>
大川指導主事	<p>現在の学習指導要領では、評価をする際に4観点で評価をしておりますが、3つの柱とした資質・能力ということで、評価の観点も知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、主体的に取り組む態度の3観点到に整理されます。</p>
石井教育長職務代理者	<p>新学習指導要領とは離れてしまいましたが、最近、自然災害の影響が増え台風が襲来して、被災地ではボランティアが頼られることもあります。ボランティアが足りないこともあると思いますが、今後、中学生や高校生にも、そういった役割を担ってもらえる可能性もあると思</p>

大川指導主事	<p>ます。防災教育の現状はどうでしょうか。</p> <p>現状、防災訓練、避難訓練等は当然、各小中学校、幼稚園で行っています。中学校においては、地域ふれあい活動で近年、防災に関する内容を取り扱っていただける地域が多くなっており、地域における中学生の役割を子どもたちが学ばせていただいております。各教科における防災教育は、小学校の社会科、小中学校の理科、保健体育や道徳等の教科で取り扱って指導しております。</p>
夏苺教育長	<p>防災教育を明記した位置付けは、新学習指導要領にはありません。教科のある部分で防災教育に関わる内容を扱っております。特に地震や津波の大災害を想定した内容では、国も県も資料を作成し、それを学校教育へ活用しているのが実態でございます。今、石井教育長職務代理者からお話があったのは、ボランティア活動の視点と理解しますが、それに関しては例えば中学校では、地域ふれあい活動で学校が子どもたちをそれぞれの地域に関わりを持ち、様々な活動に取り組みせたい思いで実施しております。これは湘光中学校独自の取組であると理解しておりますし、評価しているところであります。それが起点になってボランティア精神を培っていければ、さらに良いのかと思います。この後の青少年育成事業で重複するところがありますので、そこで協議したいと思います。</p>
小島委員	<p>道徳教育について、すでに大井町では先行実施されています。また長年、道徳教育の研究に取り組んでまいりました。問題解決から体系的な学習等、指導法の工夫もされていて素晴らしいと思います。道徳を展開する中で、課題はどのようなところにありますでしょうか。</p>
大川指導主事	<p>課題になるか分かりませんが、これまで大学の先生をお招きして授業改善、授業研究に取り組んできました。問題解決的な学習、体験的な学習などの授業改善の中で、子どもたちの実態に応じて、どのような授業改善に繋げていけるのかを、これからも引き続き努めていきたいと考えております。</p>
小田町長	<p>この件については、このあたりで終了させていただきます。次の協議・調整次項に移ります。(2)「青少年育成事業について」を協議したいと思いますので、説明者から要点に触れて説明をお願いします。</p>
浅井社会教育主事	<p>(2) 青少年育成事業について (※パワーポイントで青少年育成事業について説明をした。)</p>

小田町長	<p>それでは、ただ今の説明を受けまして、さらに詳しく聞きたいことや御質問等がございましたら御発言をお願いいたします。</p>
牧野委員	<p>大井町では、ジュニアリーダーが増えているということですが、近隣の市町の状況はどうでしょうか。</p>
浅井社会教育主事	<p>近隣の町ですと、中井町、松田町、山北町、開成町では、ジュニアリーダーズクラブは存在していません。南足柄市には、ジュニアリーダーズクラブがありますが、令和元年度の新規会員は4名と、伸び悩んでいると聞いております。</p>
夏苺教育長	<p>以前、南足柄市が大井町に関心を持たれて、1度交流をしたことがあります。そういった意味でも、大井町は積極的に活動していると印象を持っています。</p>
小田町長	<p>青少年指導員が一所懸命やってくださったと、言っても良いのではないのでしょうか。いろいろな催し物を見ても、ジュニアリーダーを指導していい活動だと、まさに協働のまちづくりだと思っています。この数字を見ても、日頃の活動を見ても大変良いと思います。この活動で工夫していることや特別なことは何かありますか。</p>
浅井社会教育主事	<p>青少年指導員の方々がとても熱心で、長年活動していただいております。子どもが好きな青少年指導員が多いと言えます。子どもキャンプに参加していただく中で、参加した小学生がジュニアリーダーに憧れて、ジュニアリーダーになりたいと入ってくれます。青少年指導員はサポーター的な立場で、ジュニアリーダーがやりたいように上手くサポートして、あえて口出しをしないところが上手く成り立っているところだと考えます。</p>
小田町長	<p>運営の仕方が上手いということですね。ジュニアリーダーの力を発揮させるというか、活用できるようにまとめているということなんですね。</p>
中條委員	<p>ジュニアリーダーの人数が増えていることは、非常に心強いと思います。ただ理想を言うと、中学生が令和元年度41名、高校生12名、大学生3名と、学年が上がると人数が減ってしまうことが分からない訳ではないですが、これがあまり減らずに、上の世代と繋がっていくとより良いのかと思います。そのような仕組みづくりを考えていけたら良いということと、上手くジュニアリーダーが低迷している子ども</p>

	<p>会と繋がって、子ども会の活性化に繋がられないかということと、もっと理想を言うと、自治会ごとにジュニアリーダーがいると、先程の防災教育ではありませんが、将来的に地域のリーダーや町のリーダーになっていけるのではないかと思います。先程、教育長が言われた南足柄市と交流したとのことですが、今後は上郡だけでなく、他の市町でもこのような組織はあると思いますので、そういう組織との交流とか、予算も絡むのであまり強く言えませんが、できれば県外の組織と交流すると、ジュニアリーダーをやるとこういう良い事があると思えるし、子どもたちが成長できる場所に、ここはなっていくと良いと感想を持ちました。</p>
小田町長	<p>青少年指導員とジュニアリーダーの関係については、他の市町でも同じ仕組みなのですか。</p>
夏苺教育長	<p>そうだと思います。</p>
浅井社会教育主事	<p>近隣ですと小田原市にジュニアリーダーズクラブがあります。</p>
小田町長	<p>やはり青少年指導員があって、その中の組織としてジュニアリーダーズクラブがあるのですか。</p>
浅井社会教育主事	<p>はい。</p>
小田町長	<p>全国的に同じような組織はあるのですか。大井町は平成15年から始まっていますが、それ以前に行っているところはありますか。</p>
夏苺教育長	<p>ジュニアリーダーズクラブは、青少年指導員の下部組織になっています。他でも同じような状況になっていると思われます。</p>
大森生涯学習課長	<p>ジュニアリーダーは平成15年から立ち上げまして、その当時、私は青少年指導員をやっていました。他市町村でそのような組織が何か所かあると聞き、大井町でも取組を始めたことを覚えています。</p>
夏苺教育長	<p>町民体育大会のときに、ジュニアリーダーになっている子どもたちが係りの活動をしている姿を湘光中学校の校長先生が見て、ボランティアというか自分の意志で所属していますが、学校では見せない姿、見られない姿を見て感激されていました。違った一面を見て、子どもたちには学校教育の場だけではなく、地域や他団体との関係の中で育っていくと思いますし、校長先生の一言も印象に残りました。</p>

小田町長	<p>子どもにとっては、学校やジュニアリーダー等の場所で、生き生きと働ける場があるというのは成長する要因の一つだと思います。そういう場が与えられる、あることが大事だと思います。</p>
夏苺教育長	<p>青少年指導員は、各自治会の推薦を受けて取り組んでいただいております。当然、各自治会との関係もあります。各自治会においては、地区の青少年育成会という組織もあります。青少年指導員も各自治会に関わりを持っていて、青少年育成会との関係もあります。それぞれの自治会によって関係に違いはありますが、その取組を何か紹介してもらえますか。</p>
浅井社会教育主事	<p>例えば根岸下地区では、自治会と青少年育成会が小中高生と防災キャンプのようなことを行っております。テントの設営や飯盒炊飯、カレーの調理等を中高生が小学生に教えるといったミニキャンプを行っております。また、金手地区では、ジャガイモやサツマイモ等の苗の植え付けや草取り、収穫等をとおして、子どもたちが保護者と地域の方々との交流が生まれ、子どもの顔や名前が分かり、子どもたちの見守りに繋がっていると聞いています。</p>
小田町長	<p>その他に、日頃から気付いていることがあれば、質問でなくても構いません。事務局として青少年育成会やジュニアリーダー、青少年指導員の取組を進めていくうえで、課題となっていることがあれば、お聞かせください。</p>
浅井社会教育主事	<p>青少年指導員ですが、自治会からの推薦になります。なりたいたいと言っている方もいますが、仕事が忙しくて難しい方もいます。一人の方が長年やっていたくのはありがたいのですが、その後の後継者というところでは、自治会も自治会長も苦勞していると思われれます。ジュニアリーダーについても先程、中條委員がおっしゃられたように中学生は多いのですが、高校生、大学生になると外に目が向きがちになりますので、そこをなんとか繋げて顔を出していただければ、その後の成人になった時に、大井町に愛着を持って戻って来ていただけると願っております。</p>
小田町長	<p>その他にお気づきの点がございましたらお願いします。御意見もないようですので、この件については、協議を終了させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは(3)「その他」に進みます。教育委員の皆様から、何かこの場で協議の必要がある案件がございましたら御発言をお願いします。</p>

石井教育長職務代理者	<p>中学生に海外留学や国際交流のチャンスを与えるということで、福島県でしたか、留学が出来るような町長の発案だったと思います。非常に良い試みだと思いますので、中学生に進んで参加してもらいたいと思います、本当は海外に行ければ良いのですが、なかなか費用等で難しい面もあるかと思しますので、それが毎年継続的に、みんなが行きたくなるようなツアーになると良いと思います。</p>
小田町長	<p>本日、フランスの方が3名町長室に面会に来られました。フランスにもBIOTOPIAがありまして、その行政の方が来庁されました。お話をしましたが、フランス語が全く分からず、いかに会話が大事か、コミュニケーションのためには、言葉が分からないといけなことを痛感しました。今までの大井町にはフランスに限らず、国際交流について私の知る限り全くなかったので、この時代にどうなんだという思いもありまして、本当であれば、どこか留学とかホームステイするとか、長くは行かないにしても、そういう場の設定ができればいいかなと思っています。関係がないところいきなり行けないでしょうし、安直な考え方をするとイギリス留学をしたような体験ができるということを知ったので、一回やってみるのも良いと思っています。そこに2泊3日で行くと、イギリスに行ったような雰囲気時間を過ごせる空間があると聞きまして今は企画中であります。</p> <p>他に特になければ、これで私の任を解かせていただきまして司会に進行を戻します。</p>
露木課長	<p>4 閉会</p> <p>熱心な御協議、御疲れ様でございました。</p> <p>さて、この大井町総合教育会議につきましては、毎年2回の会議を開催しておりまして、今年度の第2回目の大井町総合教育会議につきましては、来年の2月を予定したいと考えているところでございます。また、期日が具体的に決まりましたら、お知らせさせていただきますので、御出席に御配慮いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、これをもちまして、令和元年度第1回大井町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p>閉会時刻 14時50分</p>